

## 胃潰瘍 十二指腸潰瘍



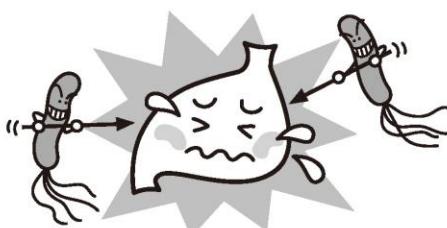
胃潰瘍とは粘膜や皮膚の上皮組織に炎症ができる病気です。胃潰瘍と十二指腸潰瘍を総称して消化性潰瘍と呼びます。食べ物を消化する胃液、ストレス、薬物、飲酒、喫煙などを攻撃因子といい、それに対して胃粘液、胃粘膜血流、プロスタグラジン（※）などを防御因子といいます。この二つの因子のバランスが崩れることによって潰瘍が発症すると考えられています。

※生体内で合成される生理活性物質。胃の血液循環を促進し、粘液などの分泌を促進する。

また、ピロリ菌も大きな要因の一つであることがわかりました。このピロリ菌の感染により傷ついた粘膜が胃酸の刺激を受け続けて傷が深くなることによって、胃潰瘍が引き起こされます。ピロリ菌陽性率は、胃潰瘍では70～80%、十二指腸潰瘍では90～100%です。両者の共通の自覚症状は、胃・十二指腸の粘膜に穴があくほどになると強い上腹部痛が起ります。また潰瘍からの出血があると吐血、下血（黒色便）が起こることがあります。その他の症状としては、胸やけ、吐き気、嘔吐、すっぽりげっぷ、食欲不振、貧血などがあげられます。自覚症状がなくても潰瘍がみつかることがあります。気になる症状があれば、早めに受診しましょう。

オーストラリアの医師が胃の中にいることを発見し、注目されるようになった細菌がヘリコバクター・ピロリ（ピロリ菌）です。らせん状の細菌で胃の出口付近の幽門部（ペルス）に好んで住み着くため、この名がつけられました。大きさは幅0.5～1.0 μm × 長さ2.5～3.5 μmで、数千の鞭毛（べんもう）で活発に動き、胃粘膜を覆っている粘液層の中に潜り込み、粘膜の表面に付着して増殖します。この菌は胃粘膜の成分である尿素を分解してアルカリ性のアンモニアを生成します。それによつて胃酸を中和し、自分に住み良い環境を作りながら生きています。

消化性潰瘍は胃酸、ペプシン及び



## ヘルコバクター・ピロリ

ストレス等の攻撃因子と粘液や重炭酸イオン等の防御因子のバランスが崩れて発生するといわれてきました

が、その後、ピロリ菌が胃炎を起こし、その菌を除菌することによ

り炎症が軽快することが証明され、ピロリ菌が胃炎を起こすことがあります。普段の食生活でピロリ菌に対する効果がある食品を摂ることも効果があります。ヨーグルト（LG21）、ブロッコリー、スプラウト、フコイダン（ぬめり成分）が含まれているモズク、ワカメ、昆布などの食材がおすすめです。また、緑茶に含まれるカテキンという成分も静菌作用があるといわれています。積極的に取り入れてみてはいかがでしょうか。

ホームページはこちら! ▶ <http://drug-kusatsuya.com>

ゆっくりと  
相談の  
できる薬局

# 草津屋薬局

三番町  
一至四本木  
セブンイレブン  
ガードアント  
川尻駅

国連3号線  
城南中  
草津屋薬局  
文番  
肥後銀行  
宮崎染織  
川尻小

熊本市南区川尻1丁目3-13  
(営業時間) 8:30～21:00  
(定休日) 毎週日曜日

TEL (096) 357-9311